

# カトリック八尾教会ニュース



しゅ こうたん しんねん  
主のご降誕と新年の  
よろこ もう あ  
お慶びを申し上げます

## 2024年1月

### Tháng một



#### 【今月の予定】 ミサの時間

1日(月・祭) 神の母聖マリア<世界平和の日> 10:00

7日(日・祭) 主の公現 7:00  
10:00

8日(月・祝) 主の洗礼 -----

14日(日) 年間第2主日 7:00

「新成人の祝福」- 10:00

17日(火) 教区新生の日 <1. 17>

18日(木)~25日(木) <キリスト教一致祈禱週間>

\*世界に広がる教会が心を合わせ、

キリスト者の一致を祈ります。ポスターや小冊子をごらんください。

21日(日) 年間第3主日(神のことばの主日) 7:00

10:00

ベトナム語のミサ 15:00

24日(水) 世界子ども助け合いの日(献金) -----

27日(土) 初聖体勉強会 14:00

信仰講座 16:00

28日(日) 年間第4主日 7:00

子どもと共に捧げるミサ 10:00

せい トマス・アクィナス 司祭教会博士  
まえだ まんようだいしきょうれいめい  
前田万葉大司教霊名

【平日のミサ】 木曜日 10:00 11日、18日(4日、25日休みです)

#### 【平和を求める祈り】

平和の源である神よ、

今なお激しい戦闘が続く〇〇〇(国や地域の名を加える)では、平和を望む多くの人が犠牲となっています。

苦しむ人、虐げられている人を支えてくださるあなたに祈ります。

国々の指導者を正しく導き、憎しみではなく愛を、争いではなくゆるしを、

分裂ではなく一致を求める心をお与えください。

住む家をなくし、恐怖と不安の中での生活を強いられている人々を力づけ、心と体に安らぎをお与えください。

すべての人に、争いや暴力を退け、平和を実現しようとする強い意志をお与えください。

いつくしみ深い神よ、

この世界に聖霊を豊かに注ぎ、敵対する人々の心から怒りの炎を消し去り、絶望にあえぐ

人々の心に希望の火をともしてください。

あなたが望まれる和解と平和が、一日も早く実現しますように。

わたしたちの主イエス・キリストによって。 アーメン。

(カトリック中央協議会H.Pより)



**待降節ブロック合同黙想会に参加して** 12月2日(日)14時~16時半(布施教会)

今回、四年ぶりにブロック合同黙想会が開催されました。講師に仁川教会の和越敏神父様が指導くださいました。神父様はベトナムから日本へ帰化され、修道会のモットーである和を大切にしたいと名付けられたそうです。神父様の講話の中で、私がつもつこにに残ったメッセージが、「待降節」とはただ、受け身で待つ時間ではないと話されたことです。私たちは大切な人、嬉しい知らせなどを待ち望むとき、祈り求め、神の声に耳を傾けて準備をすること事が大切なのだ深く心に残りました。今も中東の地で、また、二年になろうとしているウクライナで悲しく恐ろしい戦争が起こっています。どうか、平和を待ち望む人々の上に救いのおとずれが一日も早く来ますように。神のひとり子をこの世にお与えになるほど私たちが愛してくださる神よ、私たちも互いに愛し合うことができますように導いてください。(信徒 I.K.)



**飯盛山麓『クリスマスフェスタ』に参加して** 12月17日(日)大東教会にて

第一部：講演「信仰の地下水脈～河内キリスタンから九州キリスタンへ」聴講して大東教会出身の竹延神父により、上記の題でお話を聴講しました。1563年に河内の野崎観音付近(飯盛山城)にて73名の集団洗礼から広がった河内キリシタンは信仰の迫害にあっても、その後20年くらいの間に信徒は増えてきましたが、キリシタン禁教令により受難と殉教が続くこととなります。しかし、その人脈は九州(肥後、天草、島原など)に送られても途切れることはなかったようです。河内キリシタンの歴史を研究され神田宏大牧師の書物に詳しく記されているそうです。野崎観音付近(飯盛山)には多くの遺跡があるようなのでいつか回ってみたいと思っています。

講演に続いて、第二部:「ヴェリタス 城星学園中・高等学校聖歌隊」によるクリスマスソングの澄んだ歌声をキャンドルの前で聞き、天使が主の降誕を待つように呼び掛けられている余韻に満ちたひとときでした。(信徒H.K.)



**社会活動委員会より募金活動報告と署名のお願い**

◎2023年後期分の募金を送金しました。ご協力ありがとうございました。

- カリタスジャパンウクライナ支援 11,152円
- カリタスジャパン秋田水害支援 11,152円
- 釜ヶ崎支援 20,835円



◎「外国人住民基本法の制定を求める全国キリスト教連絡協議会」の署名について

日本に住む外国人の方の人権を守るための基本法の制定を求める事が目標です。参加団体の一番はじめに、日本カトリック司教協議会の名が載っています。日本に住む外国人の方の人権が十分に守られていないとは、まず、納税の義務はあるが、参政権は無い事や、外国人という理由で、入居や就職に差別があることなどあります。それは日本で生まれ育った人たちもです。日本は、まだまだ、人種差別に対する国内法は十分ではありません。どこで暮らしても、一人ひとりの人としての権利が十分に守られるための署名活動にご協力ください。

ぶんがく すば おも えんぴつ いっぽん じぶん ないめん  
文学、その素晴らしさをどうやって言い尽くせるのかと思う。鉛筆一本で自分の内面から  
こうみやく さが だ せいれん よ つく だ ぶんびつか しょうせつか  
鉦脈を探し出し、精練しては世に作り出すのが文筆家、とりわけ小説家なのだ。  
かのうせい おおうなばら ね ことば かたち あた ちつじょつ ものがたり う だ けっか じぶん  
可能性の大海原に寝ている言語に形を与え、秩序付けて物語を生み出していく。その結果、自分  
が救われ、ついでに読者も救いに導かれるそのような作品を、私は書きたいと今も思っている。  
よる はじ にんげん なか ひそ われ ふ まわ やみ  
「夜だ。」と始まり、人間の中に潜んでいて、うごめき、我らを振り回している闇についてとこと  
ん 追 求 した い の だ。これ等闇こそ、自分を取り戻すために必ず受け止めるべき、もう一つの自分  
だから。決して認めたくない、敢えて避けなくなる 私たちの本質の一部だから。

しんや おお ひと あ す ため いちにち つか いや じかん ねむ ひとびと いがい すく  
深夜だ。多くの人が明日の為、一日の疲れを癒している時間だ。しかし、眠れない人々は以外と少  
なくない。音楽は夜一層甘美さを増すため、体力の許す限りとことん聴き込みたくなるし、夜書  
くラブレターというのは、翌朝、恥ずかし気に自分で破ってしまうことを分かり済みでも夢中にな  
って書けるものだし、車で深夜の高速道路を、前照灯を手さぐりに走っていき、この先の暗闇し  
か相手にすればいいだけの単純さと落ち着きも甘い。青春の頃、容赦なく自分を駆り立てていた  
その闇を、猛烈な勢いで振り回されていたあの闇を思い出し、今は小さい体に収まっている、神様  
と和解したその闇のことが愛らしい、そして切なく悲しい。人生の旅路はまだ続くし、時には死んだ  
ひとびと たいへんうらや し じんせい かんせい  
人々が大変羨ましくなる。死は人生の完成なのだから。

しんや そうぞう おと だ ねむ じかん つめ よつゆ ぬ こうじげんば  
深夜だ。騒々しく音を出していたものらが眠る時間。冷たい夜露に濡れながら工事現場のタワ  
ークレーンも腕を休めている時間だ。貧しい人が明日のことを心配した挙句眠りにつく時間、  
のじゆくしゃたち いま よつゆ さむ し の ところ つ き じんかん ぎゃくたい  
野宿者達は今その夜露と寒さを凌げる所に着いているだろうかと思える時間、虐待されて  
いる子どもにとっては、明日はもう来ないで、このまま寝てはこの世から消え去りたいと思っ  
ているかもしれない時間。悩みで、悲しみで枕を濡らしている誰かの鼻の詰まる時間。  
こういった聖書の詩編に綴られている数々の嘆願に似たものが光のように神様に届く時間！

しんや め さき やみ さえぎ いっそう じぶん ないめん もぐ こ おも で  
深夜だ。目の先の闇に遮られ、一層自分の内面に潜り込める。思い出が、とりわけ、しでか  
した過ちが頭をもたげてくる。その数々に、いちいち赦しを乞いながら時間は経っていく。  
その愚かさの場面に、激しさを極めていたあの時間に、神様の御恵みがなかったら、自分はもう  
すでに灰になっていただろうと強く感じる。と同時に手を合わせて切に祈りたくなる時間だ。  
いま ふこう じかんちゆう ちきゆう の ひとびと はげ おく あなた ゆうへい じんかん  
今も不幸な時間中にあるこの地球に乗っている人々に、励ましを送る。貴方のその幽閉の時間を、  
わたし くる やみ とも がんば  
私の苦しみと闇で共にいてあげるから頑張っ、と。

じんかん なが なか わたし じぶん  
時間は流れていく。その中に私たちは自分を  
きざ いっしゆん すべ うつく  
刻んでいく。その一瞬たりとも全てが美しいもの  
な っ て 欲 しい。  
やみ ひかり ひかり う  
闇があるからこそ、光は光になり得る。  
おそ  
恐れることはない。  
かみさま  
神様がおられる。

